

# DATEVALUE

提供: ExcelPedia

## 概要

日付をあらわす文字列に対応するシリアル値を返すワークシート関数です。表示結果はセルの書式設定の表示形式の設定によって異なり、標準/Gの時はシリアル値、日付形式の場合は日付形式で表示されます。

## 書式

DATEVALUE(日付文字列)

## 引数の説明

### 日付文字列

日付文字列は、Excel の組み込みの日付表示形式で指定します。

1900 年日付システム (Windows 版 Excel の標準) の場合は、1900 年 1 月 1 日 ~ 9999 年 12 月 31 日の範囲にある日付を表す文字列を指定します。

日付文字列にこの範囲外の値を指定すると、エラー値 #VALUE! が返されます。

日付文字列の年の部分を省略した場合、コンピュータのシステム時計の日付をもとに、再計算時点での年に対応するシリアル値を返します。

日付文字列に時刻の情報が含まれていても無視されます。

## 使用例

DATEVALUE関数使用例

	A	B	C	D	E
1	年月日	計算式	計算結果		
2	= "2012/2/29"	=DATEVALUE(A2)	2012/2/29		
3	= "H24.2.29"	=DATEVALUE(A3)	2012/2/29		
4					
5					

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことができます。  
**Internet Explorer** 普通に貼り付け / **FireFox** [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

## 関連項目

関数/日付と時刻の関数

「<http://localhost/mwiki/index.php/DATEVALUE>」より作成

カテゴリ: 関数

---

- このページの最終更新は 2012年12月4日 (火) 13:31 に行われました。